



## 主要な農作物の生育情報

平成24年度 第7号

(平成24年10月12日)

福島県農林水産部農業振興課



### 【水 稲】

水稻の成熟期は、出穂後の高温の影響からやや早まる傾向が見られ、農業総合センターの生育調査では平年並み～5日早まる結果となりました(表1)。特に、浜地域研究所のコシヒカリでは成熟期が5日早まり、登熟日数は6日短縮されました。

表1：水稻主要品種の成熟期と登熟日数(農業総合センター)

場 所	品 種	田植日 (月日)	成熟期			登熟日数		
			本年 (月日)	平年 (月日)	平年差 (日)	本年 (日)	平年 (日)	平年差 (日)
本 部	ひとめぼれ	5.15	9.14	9.14	0	41	40	+1
	コシヒカリ	5.15	9.23	9.26	-3	42	44	-2
会津地域 研究所	ひとめぼれ	5.21	9.11	9.14	-3	39	40	-1
	コシヒカリ	5.21	9.19	9.22	-3	42	44	-2
浜地域 研究所	ひとめぼれ	5.10	9.13	9.15	-2	40	42	-2
	コシヒカリ	5.10	9.24	9.29	-5	43	49	-6

稲刈り作業は、中通りと浜通り地方では9月下旬以降の雨天や台風17号の影響がありやや遅れる傾向となりました。

### 【野 菜】

#### 1 夏秋きゅうり

県内各地の露地栽培では、8月の高温・乾燥や成り疲れによる草勢低下、9月下旬からの気温低下により、平年より早く栽培を終了しているほ場が多くあります。ハウス抑制栽培は、8月中旬から出荷が始まり生育は順調です。病虫害はうどんこ病、ハダニ類の発生が見られます。

#### 2 夏秋トマト

現在、県南地方では13段果房収穫中、会津地方の高冷地では11段果房収穫中、南会津地方では9段果房を収穫中です。いずれも生育は平年並みですが、気温の低下による着色の遅れや8月の高温による花落ちの影響で収穫量は減少しています。病虫害では、灰色かび病、オオタバコガ、ハモグリバエ類の発生が見られます。

#### 3 さやいんげん

県中地方では、6月下旬～8月播種のものが栽培終了間近となっています。収穫量は8月の高温・乾燥や9月下旬からの気温低下の影響で減少しています。病虫害では、角斑病、ハモグリバエ類、アザミウマ類の発生が見られます。

#### 4 夏秋ピーマン

安達地方や田村地方の露地栽培では、収穫後半となっています。いずれの地方とも気温の低下で果実肥大が遅くなり、芯止まりが見られます。収穫は平年どおり、10月中下旬まで行われる予定

です。病害虫では、斑点病、オオタバコガの発生が見られます。

#### 5 夏秋なす

安達地方や田村地方、須賀川地方の露地栽培は、収穫後半となっています。気温の低下で果実肥大が遅くなっています。収穫は平年どおり、10月中下旬まで行われる予定です。病害虫では、すすかび病、チャノホコリダニの発生が見られます。

#### 6 秋冬どりブロッコリー

県中地方では、高温・乾燥により定植作業の遅れや定植後の苗の生育が遅れていましたが、9月の降雨により生育は回復し順調な生育となっています。害虫ではヨトウムシの発生が見られます。

### 【果 樹】

#### 1 な し

農業総合センター果樹研究所における「幸水」の収穫始めは、8月28日で平年より1日遅く、収穫盛りは9月1日で平年より1日早い状況でした。また、平均果重は369g（平年373g）、糖度は12.7（平年12.6）でした。また、「豊水」の収穫始めは9月18日で平年より3日遅く、収穫盛りは9月22日で平年より1日遅い状況でした。また、平均果重は395g（平年426g）、糖度は14.1（平年12.7）でした。

#### 2 りんご

果実肥大（果樹研究所、10月1日現在）を暦日で比較すると、「ふじ」は縦径が平年比102%、横径が平年比102%とほぼ平年並みの状況です。また、果実の生育日数による比較では、平年よりやや大きい状況です。

### 【花 き】

#### 1 きく類

9月咲き品種は、高温・乾燥により一部で開花遅延が発生し、一部で彼岸需要期からやや遅れての出荷となりました。10月咲き品種では、平年並みに9月下旬から出荷が始まっております。害虫では、オオタバコガの発生が見られます。

#### 2 ストック

8～9月に高温が続いた影響により、花芽分化の遅れが懸念されましたが、概ね順調な生育となっています。害虫では、コナガの発生が見られます。

#### 3 シクラメン

各地方ともに概ね順調に生育しています。

田村地方では、9月下旬からガーデニング用ミニシクラメンの出荷が開始されています。

### 【飼料作物】

#### 1 牧 草

3番草は、ほとんどの地域で9月下旬までに収穫作業が行われました。

地域によっては、高温・少雨の影響で草丈が低い地域や、夏枯れ等が見られ、収量はやや少ない状況となりました（昨年秋に除染（草地更新）を行った牧草地）。

## 2 飼料用とうもろこし、稲WCS

県内のほとんどの地域で9月下旬までに収穫作業が行われました。

収量は高温・少雨の影響でやや少ない状況ですが、収穫期が比較的天候に恵まれ、良質な飼料が生産されています（放射性物質のモニタリング検査の結果、作付けされた全ての地域で飼料の暫定許容値を下回っています(10月10日現在)）。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/fappi/index.html>）等を活用し、適切に対応してください。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7339

[http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp\\_portal/contents?CONTENTS\\_ID=11224](http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/contents?CONTENTS_ID=11224)